



特集

30年産を見据えた「いわて純情米」の産地確立に向けて

米穀部

I.はじめに

国は、平成30年産米から産地の自主的な取り組みによる需給に応じた生産・販売といった農業政策への転換を進めています。

このような環境変化に対応し、本会は、米の主要産地としての確固たる地位を確立することを主眼に、30年産以降を見据えた生産・販売対策の再構築をおこなうとともに、J Aと連携をとりながら安定取引に向けた取り組みを進めます。特に、農業者所得の増大・安定に向けて、マーケットインの視点で契約栽培など需要に応じた生産提案をすすめるとともに、県と連携し新品種のブランド化を促進することで、マーケットからの「いわて純情米」の全体評価の底上げをはかります。

また、生産・集荷面では、J A・生産者ニーズに応えるため、新たに県北地区に広域集出荷施設を設置し、フレコン・庭先集荷を拡充するとともに広域集荷・輸送体制を確立し、安定供給と流通コストの低減に取り組めます。

今回は、「いわて純情米」の産地確立に向けた重点的な取り組みとして、①「マーケット・インへの事業転換」②「岩手県オリジナル品種のブランド化」③「安定取引（集荷販売）に向けた広域集出荷施設の活用」など、販売起点の取り組みをご紹介します。



「ワレモコウ」

〔バラ科〕

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

この花の名を漢字で書くと、現代では「吾亦紅」が一般的である。ところが図鑑を調べてみると、かつては「吾木香」だったという。木香とはキク科の植物だそうだが、私には何となくピンとこない。園芸植物の代表格とも言えるバラと、同じ科に属していながら、ひどく地味な花を咲かせるこの草には、「吾亦紅」という名前がよく似合う。花穂をよく見ると、一つ一つの小さな花は、深い深い紅色をしていて、必死で「吾もまた紅なり！」と主張しているように感じられるのである。そして、その心意気が、ワレモコウを何とも凛としたものになっている。キンミズヒキとは開花の順番が逆で、花穂のてっぺんから、下へ向かって咲いてゆく。

参考資料：澤口たまみ著『岩手の野草百科』（岩手日報社発行）より

季節のエッセー
いわての野草

純情産地発
クララ

KLARA vol.818
2017.9

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みんなの分教場	07
特集 30年産を見据えた「いわて純情米」の産地確立に向けて	03	報告! 出向く活動班	08
消費地だより	06	のん活動記	09
銀河食堂info	06	純情人	09
		ニュースワイドアングル	10

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

Ⅱ.産地確立に向けた重点取り組み事項

1.マーケット・インへの事業転換

【取り組み方針】

- ◆実需者と産地のマッチング機能強化による「見える化」促進
- ◆マーケット・インにもとづく契約栽培の提案強化

(1)マーケット・インにもとづく計画生産の実践

中食・外食など業務用需要が伸長する状況をふまえ、実需者とマッチング機能強化を進めることで「見える化」を促進します。そのうえで、実需者ニーズを産地に対する確に伝え、作付誘導も含め計画的な生産を進め、実需側・流通側・生産側のそれぞれ

■業態別生産販売数量目標

用途	業態	28年産計画		30年産目標	
		数量	シェア	数量	シェア
家庭用	量販店 ①	22,000	20%	24,000	20%
	生協 ②	16,000	15%	8,000	15%
	他家庭用 ③	6,000	5%	4,000	3%
	小計 A(①:③)	44,000	40%	46,000	38%
業務用	中食 ④	35,000	32%	40,000	33%
	外食 ⑤	23,000	21%	28,000	23%
	他業務用 ⑥	8,000	7%	6,000	5%
	小計 B(④:⑥)	66,000	60%	74,000	62%
合計 C(A+B)		110,000	100%	120,000	100%

※他家庭用・他業務用は、百貨店・米穀専門店・JA小売・ネット販売・卸問売買等

れにとって良い取り組みになるよう進めていきます。具体的には、実需者ニーズを踏まえ、30年産米の生産計画（銘柄・数量・価格）を29年9～10月にJA・生産者に提案していきます。

(2)多様な契約・販売手法による安定取引の実践【契約栽培の更なる深化】

安定供給・長期的な取引を実現するにあたり、伸長する中食・外食等の業務用需要への対応として、事前契約を拡大するとともに契約栽培（＝複数年契約）を促進します。《実需者への直接販売の段階的な拡大》

【直接販売の定義】

- 実需者への精米での販売を主体とした方式、販売ルートは以下のとおり
- ①実需者への安定した販路を確立している卸ルート
- ②パルライス卸ルート（全農パルライス（株）純情米いわて等）
- ③全農直接販売

本会は、今まで以上に、実需者への精米での販売を主体とした方式を推進します。なお、実需者への精米販売ルートは、実需者ニーズに応じて安定した販路を確立している取引先、JAとの結び付きがある取引先を中心に販売を進めます。

以上により、取引先と連携し実需者に軸足を置いた販売を展開することで、実需者ニーズをダイレクトに生産提案に反映させ、農業者の営農の安定に寄与することにもバリューチェーンの構築を加速します。

なお、年次計画は、実需者との直接販売（実需者へのルートを特定した販売含む）

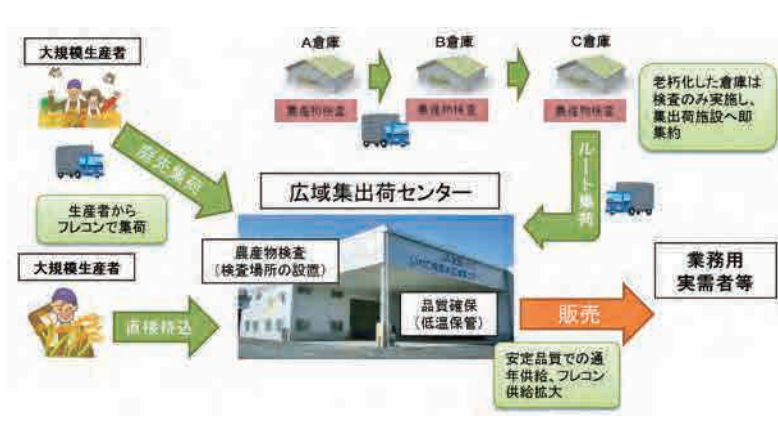
- (2)マスメディアを活用したプロモーション展開
- テレビCM等メディアを活用し露出度を高めることにより、ブランド確立と販売拡大に取り組み、消費者や実需者に支持され、長く愛され続ける米を目指します。特に、新たな需要の創設と販路拡大を図るため、首都圏を中心に29年8月下旬から、大規模なプロモーションを展開します。
- 《タレントを活用した宣伝プロモーション(TVCM放映)》
- 出演者
- 女優「のん」さん（純情産地いわて宣伝本部長）「ゴ☆ジャス」「ANZEN漫才」「カミナリ」「どぶろっく」
- 放送地域
- 岩手県内・民放4社・関東地区・関西地区・中京地区
- 放送期間
- 平成29年8月下旬～10月
- CM展開
- ストーリー性のあるシリーズCMを展開
- 「会議」編／「田植え」編／「羽釜」編／「水」編／「稲刈り」編／「おにぎり」編
- 《交通広告》
- JR新幹線 全席搭載トランペール10月号広告掲載
- JR山手線 中吊り広告10月掲載
- JR東京駅新幹線ホームへの看板年間掲出



「田植え」編



CMイメージ



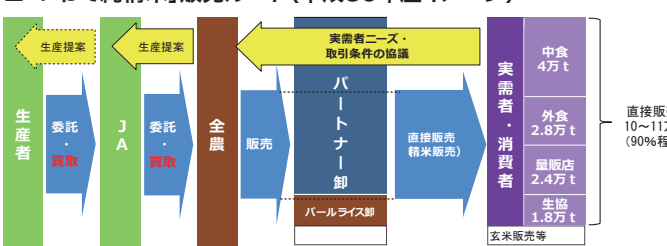
- 3. 安定取引に向けた広域集出荷施設の新設・活用
- ◆「取り組み方針」
- ◆実需者ニーズへの対応として、広域集出荷施設を増設、フレコン流通、通年での品質確保・安定供給の取り組みを進めます。
- (1)広域集出荷施設の活用による安定取引の実現
- 広域集出荷センター「結」
- 16000ト規模（24年9月稼働）
- 県北広域集出荷センター「結」
- 12000ト規模（29年9月新設）
- (2)JAと一体となった集荷・販売体制の構築

■直接販売年次計画

年産	27年産	28年産	29年産	30年産	36年産
販売計画数量 ①	126,000	110,000	115,000	120,000	120,000
直接販売数量 ②	80,000	80,000	86,000	96,000	108,000
見える化率 ②/①	63%	73%	75%	80%	90%

※直接販売数量は、実需者への販売経路を特定した契約含む数量

■「いわて純情米」販売ルート（平成36年産イメージ）



は、現行の70%程度を、30年産80%とし、最終（36年産）目標を90%とします。

《買取販売の段階的な拡大》

需要に応じた銘柄・数量を安定的に生産者に栽培いただくこと、また、取引先と継続的かつ安定的に取引をするため買取販売を拡充します。

なお、「銀河のしずく」「金色の風」は、先行して買取販売を始めており、今後は、販売先が特定している「いわてっこ」「どんぴしゃり」「地域銘柄」等は契約栽培を前提に買取販売などの販売方式への移行を検討していきます。



いわて純情米県北広域集出荷センター「結」（29年9月 滝沢市に新設）

Ⅲ.おわりに

ライフスタイルの変化・食の多様化や少子高齢化に起因する米の消費減少は更に進み、米の販売環境は一段と厳しさを増します。また、北海道の「ゆめぴりか」や山形県の「つや姫」に比べ、新潟県「新之助」や青森県「青天の霹靂」など各産地とも良食味新品種の市場デビューをしており、今後ますますブランド米による産地間競争が激しくなります。

そのようななか、今後とも「いわて純情米」が、消費者や実需者から支持され、米の産地としての地位を確固なものとするためには、JAいわてグループ・関係機関が同じベクトルで一丸となった取り組みが必要となりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2.岩手県オリジナル品種のブランド化促進

【取り組み方針】

- ◆岩手県オリジナル品種「銀河のしずく」「金色の風」のブランド化を促進することで、新たな需要を確保するとともに、マーケットからの本県産米の全体評価の底上げ、認知度向上を図ります。

(1)年産別生産販売計画

29年産「銀河のしずく」5000ト、「金色の風」5000トを計画しています。

なお、中期的な数量計画は、29～32年産を、新品種の認知度・市場評価醸成期間と位置付け、その評価を踏まえ、今後関係機関との協議により生産販売計画を策定していきます。



金色の風



銀河のしずく

純情ブランド消費地の「今」をリポートします。

消費地販売部 発

消費地だより



名古屋市内量販店の米穀売り場の様子



消費地販売課(名古屋) 佐藤 大介

「いわて純情米」につきましては、安定品質、安定供給の面から、各御、各実需者から多くの要望をいただいております。28年産米に引き続き29年産米につきましても、出荷契約数量を上回る数量の要望をいただいております。いわて純情米への期待の大きさが伺えます。

中京地区におきましては、スーパー等量販店での販売が中心となっておりますが、近年は中食・外食など業務用実需者の需要も伸びてきております。スーパーでの販促の際に、「いつも岩手のお米を買っているよ」と声をかけて頂くことがあり、「いわて純情米」のファンを実感します。実需者と産地との結びつけを図り、安定した販売ができるよう進めております。

また、28年産米より販売開始となった「銀河のしずく」、29年産米より販売開始となる「金色の風」については、主要卸とともに販売先に向けた商談を行っております。新品種に対する実需の期待も大きく、各産地から良食味新品種(北海道「ゆめぴりか」、青森「青天の霹靂」、山形「つや姫」、新潟「新之助」等)がデビューしているなかで、各関係機関と協力しブランドの確立及び「いわて純情米」の評価向上を目指してまいります。

現在、29年産米については実需者から出荷契約数量以上の要望をいただいております。安定した品質のものを安定供給していくことが、販売先からの信頼および岩手県の評価向上に繋がっていきます。生産者の皆様方には、農協・全農県本部への出荷をよろしくお願いいたします。

みんなの分教場



資材部 営農技術課 技術主管 小菅 裕明

全国に誇れる最高級プレミアム米「金色の風」が今秋デビュー

期待の品種

今年1月、多くの関係者列席の中、県オリジナル新品種「金色の風」の生産・販売キックオフイベントが盛岡市内で開催され、達増知事から、「金色の風」は、全国に誇る最高級プレミアム米として、美味しい「はんにこ」だわる人から愛され、日本の食卓に新たな風を吹き込むお米になっていくものと確信している、との挨拶があり、新たな一歩を踏み出しました。そして、5月8日、JAいわて平泉管内長島地区では、達増知事や本会・山形県本部部長等出席による田植えも行われました。



黒を基調とした下地に金色の流線形ロゴマークをあしらひ、両端に和紙柄を用いて高級感を演出(株)純情米いわて提供、10月8日発売予定)



「金色の風」知事田植え(関係者集合写真)



「金色の風」知事田植え(5月8日、JAいわて平泉管内長島地区にて)

写真提供:岩手県産米戦略室

「金銀Wカレー」が登場

ダブル

いわて純情米の店「銀河食堂」に、「金銀Wカレー」が登場しました。「金」「銀」とは、今年の秋に全国デビューする岩手県オリジナル品種「金色の風」、昨年デビューした「銀河のしずく」のお米のこと。この「金」「銀」二つのお米に、旬のいわて純情野菜を使用したカレーをトロッとかけました。話題の「金」と「銀」を同時に味わえる、贅沢なカレーで

銀河食堂info



ダブル「金銀Wカレー」 800円(税込)

す。サラダと味噌汁が付き、価格は800円(税込)。ご飯のおかわりはご自由にできます。ぜひあつあつの「金銀Wカレー」を食べに、銀河食堂にお越しください。皆様のご来店をお待ちしております。

※なお、野菜の種類は季節や当日の仕入れにより変わるため、写真とは異なる場合がございます。

「金色の風」の開発

「コシヒカリ」を超える良食味品種の開発を目標に、平成19年から岩手県農工研究センター(以下「生工研」と)と岩手県農業研究センターが共同開発に着手。遺伝子解析研究で国内屈指の生工研では、次世代シーケンサー※の導入を契機に目標の「極良食味米」を短期間で開発しました。

※次世代シーケンサーとは2000年半ばに米国で登場した、遺伝子の塩基配列を高速に読み出せる装置。

【開発の経緯】

- (1)平成19年…「ひとめぼれ」のEMS処理(植物種子の変異原処理方法により得た系統群(12000系統)を構築
- (2)平成21年…上記育成系統群からアミロース含有率の低い24系統を選抜
- (3)平成22年…上記(2)の中より、アミロース含有率が安定して低かった系統を交配母本「H111073」を選抜し、この系統にひとめぼれを父として人工交配
- (4)(3)より得られた系統の中から、食味に優れる系統を選抜し、系統名を「岩手118号」に現地奨励品種決定調査を経て育成(のちに公募により名称を「金色の風」に決定)。

品種の特性

- ①良食味の遺伝子を持つ系統「H111073」を母に、バランスのとれた「ひとめぼれ」を父に人工交配
- ②白米アミロース含有率が「ひとめぼれ」よりも数ポイント低く、食味官能試験結果では他産地ブランドのコシヒカリを上回る食味と評価
- ③出穂・成熟期は「ひとめぼれ」並みからやや遅い、晩生の中
- ④障害型耐冷性は「ひとめぼれ」と同等の「極強」
- ⑤いもち耐病性は「ひとめぼれ」と同等で、葉いもち抵抗性「やや弱」、穂いもち抵抗性「中」
- ⑥草姿は「ひとめぼれ」に比べて、第1節間長が長く、穂が枝垂れやすい
- ⑦収量性は「穂数」が「ひとめぼれ」より少なく、収量は少ない

■「金色の風」の草姿

ひとめぼれに比べて、畦畔際の穂が垂れている。第1節間長が長く、穂が枝垂れやすいため、稈長を伸ばさないように注意する必要がある。



■他産地ブランドコシヒカリとの比較

品種名	硬さ	粘り	味	総合評価
金色の風	-0.66	0.42	0.36	0.41

資料提供:岩手県農業研究センター

【評価】
・ふわりとやわらかく、粘り、味が良い。
・他産地ブランドコシヒカリを上回る食味

ブランドに向けて

今年「金色の風」の作付面積は、岩手県と、岩手江刺、いわて平泉の3JAで約100ha。次年度以降には更に適地内での作付拡大が見込まれます。

一方、近年、「つや姫」「山形」、「ゆめぴりか」「北海道」が台頭し、順次、「青天の霹靂」(青森)、「だて正夢」(宮城)、「新之助」(新潟)、「いちほまれ」(福井)、「ひやくまん穀」(石川)、「富富富」(富山)、「くまさんの輝き」(熊本)などがブランド化を目指しています。

こうした激戦を勝ち抜くため、いわてオリジナル品種ブランド化戦略実践本部(本部長・知事)を設立し、関係機関・団体等が「一丸」となっていく「いわてオリジナル品種ブランド化戦略(H27・29)」を実践中です。

今後、米政策が見直される30年産以降も消費地から長く愛され続けるためにも、「金色の風」の特徴栽培法を理解して、安定した食味・品質を得るように栽培を積み重ねていくことが大切であると考えます。

報告!



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
高橋 伸也

きれいな「花」で地域を元気に

今月はJA新しいわての南部営農経済センター管内を拠点に活動する若手担い手グループ「雫石HANANA会」だんだん(代表:米澤広志)の皆さんをご紹介します。



会員の皆さんとTACがいろいろで花談義

声を掛け合ってグループ設立

花卉農家は、栽培する花の品種が様々です。そのため、繁忙期もそれぞれ異なり農家同士のコミュニケーションのチャンスが少なく、なりがちです。そこで、花を育てる若手担い手が「だんだん」と声掛けあって、平成25年に「雫石HANANA会だんだん」を設立しました。現在の会員は8名。事務局は南部営農経済センターの担当者が務めます。

花で人づくり「花育」の取り組み



フラワーアレンジメントも開催

活動テーマは、「花で人づくり」。若手の情報交換・世代間交流による地域おこしとして、基本コンセプトを「花育」と表現して取り組んでいます。子供会を対象とした「フラワーアレンジメント体

験会」の開催や、関係先と連携して地域おこしの名物イベント「元祖!しずくしい軽トラ市」に今年も参加し、6月から12月の市開催日には自慢の花を提供しています。

活動をSNSで情報発信!

同グループでは日常の活動を、積極的にフェイスブック等のSNSにアップしています。SNSをフルに活用した情報発信の取り組みが着目され、IBC岩手放送でアクティブな活動内容が紹介されました。

担い手サポート事業で研修活動を開始

元気な活動の源は、会員各位の健全経営が基本です。同グループは本年度からJAグループ担い手サポート事業を活用して、栽培技術の向上と実需者ニーズの把握による、所得向上にむけた研修活動を始めました。先進地研修や一斉圃場巡回を実施して、技術向上に取り組むとともに、消費地ニーズを肌で感



石巻花卉市場で視察研修



HANA会の皆さん



軽トラ市に出店・大盛況



一斉圃場巡回で相互に研修



トルコキキョウの生育確認



7月6日(木)、八幡平市で開催された、JA新しいわて20周年記念園芸産地出荷式に、純情産地いわて宣伝本部長のんさんが応援に駆け付け、JA新しいわての野菜をPRしました。のんさんは、JA新しいわて管内の野菜をPRする、女性生産者3人組の応援隊「もんずらすかしえーるず」とのトークイベントに参加し、JA新しいわて管内で収穫された野菜を使用した、サラダを試食しました。キャベツやピーマン、トマト等の色とりどりの新鮮な野菜を食べたのんさんは、「野菜そのものの味が本当に素晴らしい。ぜひ、様々なレシピで野菜の美味しさを楽しんでもほしいです。」と新しいわての野菜の美味しさ

を来場者に伝えました。また、トークイベントでは、クイズ大会も開催。のんさんは、クイズを通して、生産者の思いや、純情野菜の知識を深めました。最後は、花束贈呈やテープカット、がんばろう三唱などを行い、首都圏でのファン獲得や輸送の安全を祈願しました。のんさんは、これからも純情産地いわて宣伝本部長として、県産農畜産物を全国にPRしていきます。



クイズに正解したのんさん

純情産地いわて宣伝本部長「のん」JA新しいわての野菜をPR

7月6日(木) JA新しいわて20周年記念園芸産地出荷式



消費地でのファン獲得や輸送の安全を祈願したテープカット



運転手に花束をわたしている、のんさん

JA全農いわての 純情人

趣味・特技

趣味は登山です。休日になると登りに行っています。特に好きな山は私の地元にある姫神山です。特技は、木の種類・名前を見た目で当てることです。

現在の担当業務

経理課で出納業務を担当しています。

これからどんな職員になってみたいか

私の業務は、外部との取り引きに関わりのあることなので、ミスのない業務を常に行えるような職員になりたいです。

その他アピールしたいこと

入会してから半年がたちました。まだまだ一人前には遠いですが、全農職員として農業に関わっているという誇りを持って、業務に取り組んでいきたいです。



管理部
経理課
さとう しおり
佐藤 菜さん

岩手県代表牛を選抜

7月26日(水)～28日(金)

第61回岩手県畜産共進会

一般社団法人岩手県畜産協会は、7月26日～28日の3日間、JA全農いわて中央家畜市場(雫石町)にて、第61回岩手県畜産共進会を開催しました。

今年の黒毛和牛の部については、9月7日～11日に宮城県で開催される、「第11回全国和牛能力共進会宮城県大会」本県代表牛の最終選抜会を兼ねて審査が行われました。「和牛オリンピック」とも称される5年に1度の大会への出場を果たすため、ハイレベルな熱い戦いとなりました。

初日の黒毛和種の部は68頭、二日目のホルスタイン種の部は72頭、三日目の日本短角種の部は39頭の、県内各地で選抜された牛が出品。月例に応じた発育や体積、品位等が審査されました。各部で名誉賞に選ばれたのは右の通りです。

「第11回全国和牛能力共進会宮城県大会」の岩手県代表牛として、種牛18頭、肉牛18頭、復興特別出品区1頭の計27頭が出場します。



県内各地から選び抜かれた牛が集いました

出品家畜	部門	出品番号	名号	出品者
黒毛和種	若雌の部	10	さつき	高橋勇一さん(八幡平市)
		55	はなやまね	高橋清治さん(雫石町)
	群出品の部	56	あおい	高橋浩さん(盛岡市)
		57	ふくやま	佐藤信行さん(矢巾町)
		58	やまろみこ	多田和雄さん(北上市)
ホルスタイン種	未経産牛の部	206	ノースランド エンブレムK インカ	外谷辰也さん(久慈市)
	経産牛の部	811	モージヤス アルタメイジング アトリー	中村優さん(葛巻町)
日本短角種	個体の部	22	たつひめ	佐々木久由さん(岩泉町)
		34	りんどう	佐々木久任さん(岩泉町)
	経産群の部	35	まつほまれ	佐々木松郎さん(岩泉町)
		36	ふじよし	佐々木和時美さん(岩泉町)

いわて牛の美味しさを皆様に

8月11日(金)

いわて牛無料試食会

8月11日(金)、岩手県農協肉牛経営者連絡協議会による無料牛肉試食会が、盛岡駅前の「滝の広場」で開催されました。平成24年から実施されており、今年で6回目。

この試食会は、岩手県産和牛の普及と消費拡大を目的として開催。帰省時期と重なったこともあり、多くの県内外のお客様に会場していただきました。試食会が開始される前から、長い行列ができ、子供からお年寄りまで、幅広い年代の方に、「いわて牛」を味わっていただきました。用意されていた約1500食は、開始約1時間半でなくなり、大盛況となりました。

同協議会の畠山正宏会長は、試食会開始前のセレモニーで、「自然豊かないわての地で、優れた生産者が作ったいわての牛は、安全安心でおいしく食べることができます。地元へ帰られた際は、いわて牛を周知してもらいたいです。」と観光客に呼び掛けました。

同会場では、JA全農いわてより、県産きゅうりの一本漬けや県産牛乳も無料で配布し、純情産地いわてをPRしました。



2017いわて純情むすめも参加しました



迫力あるいわて牛のモモの丸焼き



編集後記

小野からバトンタッチを受けまして、今月号からクラー編集担当になります、佐藤と申します!早いもので、入会から半年経とうとしていますが、まだまだ分からないことが多く、勉強の日々です。毎日の仕事から、たくさんの方のことを吸収し、いち早く一人前に近づ

けるよう励んでいきます。また、広報担当として、写真技術を磨き、見応えのある広報誌を作ることができるように、頑張って参ります! よろしく願いいたします。

(佐藤)

1年間を通して農業を学ぶ

7月22日(土)

ちゃぐりんスクール「田んぼの生き物調査」

JAいわて花巻とJA全農いわては、花巻市の圃場で、自然と触れ合うことを目的に、田んぼの生きもの調査を実施しました。これには、1年間を通して農業の楽しさを学ぶ、ちゃぐりんスクールに所属する小学3、4年生の30名が参加。子どもたちは裸足で田んぼに入り、ドジョウやイナゴなど15種類の生き物を捕まえ、「泥の感触が気持ちいい」「このヒルに名前をつけたよ」と目を輝かせました。講師を務める全農ビジネスサポート株式会社の中川護さんは「子どもたちが少しでも農業に触れ、楽しいと思ってくれれば」と次世代を担う子どもたちへ期待を寄せました。

また、岩手県JA-SSチェーン教育指導部の堀岡秀一部会長は、汚れた服などを入れる「ランドリーバッグ」や純情産地いわて宣伝本

盛岡大学附属高等学校へエール

7月26日(木)

盛岡大学附属高等学校にいわて純情豚を贈呈

JA全農いわては、第99回全国高校野球選手権大会に出場する盛岡大学附属高等学校硬式野球部へ、いわて純情豚1頭分と支援金を贈呈しました。

当日は、赤坂昌吉校長、関口清治監督、比嘉賢伸主将が来会し、本会畠山俊彰県本部長より、目録を手渡しました。

比嘉主将は「今回のチームは、春の大会を経験したメンバーが多く揃っており、甲子園球場の感覚は掴めています。いわて純情豚を全員で美味しくいただき、応援してくださる皆様の期待に応えられるよう頑張ります」と決意を表明しました。

初戦は、栃木県の作新学院に4-1で勝利。2回戦では、長野県の松商学園に6-3で勝利しました。8強入りをかけた、3回戦では、愛媛県の済美高校と対戦。12-7で見事勝利を得ました。準々決勝は、埼玉県の花咲徳栄高校と対戦し、10-1で惜しくも破れましたが、ベスト8という輝かしい成績を収めました。

いわて純情りんごのファン拡大へ

7月28日(金)

平成29年度いわて純情りんご販売対策会議

7月28日(金)、JA全農いわて主催で「いわて純情りんご販売対策会議」を開催しました。本会取引青果市場15社や関係機関、県内各JAが参加。計44名で、いわて純情りんごの販売対策について、話し合いました。

平成29年度の主な販売対策として、「重点取引市場への安定供給に向けた“オールいわて”としての販売拡大」や「本県オリジナル品種“紅口マン”“紅いわて”“はるか”の知名度向上と販路拡大」、「安定販売と所得増大のための買取販売の拡大」などが挙げられました。

また、消費地からの本県オリジナル品種の評価や他県産新品種の動向についての確認や、会議にご出席いただいた重点市場からの、いわて純情りんごに対する具体的要望が提案されました。JA



15種類の生き物を捕獲しました

部長「のん」さんがデザインされた「うちわ」などを贈呈しました。

ちゃぐりんスクールに参加する子どもたちは今後、稲刈りやライスバーガー作りなどを体験し、1年間を通して農業について学んでいきます。



左から、赤坂昌吉校長、関口清治監督、比嘉賢伸主将、畠山俊彰県本部長



いわて純情りんごの販売対策を話し合いました

全農いわては、生産者の皆様とともに、いわて純情りんごのファン拡大に向けて、生産基盤拡大・販売強化に取り組んでまいります。

全農
もっと近くに

JA SS

今年も

いわてJA-SSチェーンは、
**岩手の農業を
応援します!**

軽トラック用

**スタッドレスタイヤ & オイル交換
特価キャンペーン**

受付期間 2017年9月1日(金)~10月31日(火)

国産3メーカーのスタッドレスタイヤが

大特価!! 作業工賃は別途

DUNLOP
WINTER MAXX SV01
145R12 6PR
WINTER MPOC SV DI
4本セット
12,420円 (税込)
特別価格


YOKOHAMA
ice GUARD iG91 for VAN
145/80R12
80/78N
4本セット
12,420円 (税込)
特別価格


BRIDGESTONE
W300
145R12 6PR
W300
4本セット
13,500円 (税込)
特別価格

※金額はタイヤ4本セットでの価格となっております。ホイールは含まれておりません。

軽トラックの
オイル交換が**ずばり**
店頭SSにて**1,970円** (税込)
特別価格

【使用オイル】JAオイルSNスペシャル5W-30 【交換オイル量】2.5ℓの場合です。

詳しくはお近くのJA-SSへ!

この町が好きだから、ここにいます。

JA SS いわてJA-SSチェーンチェーン本部 / 岩手県盛岡市上厨川橋長根42-1
TEL 019-646-7283 URL <http://www.junjo.jp/ja-ss/>

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結び懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわて ホームページ〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL 019-626-8615 FAX 019-653-6145
<http://www.junjo.jp>PRINTED WITH
SOY INK™